



和尚さんのよろず話

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、と言われるようにあっという間に3月になって、段々と春めいてきました。お寺の梅の花も咲き始めました。

さて先月、お葬儀の後の初七日法要で、あるお上人から3つの所作を教えていただきました。

1つ目は新仏様の白木膳にあるご飯の上に「おさば」（三角錐のごはん）をお膳の中央に置くと言う作法です。葬儀や法要など、お経がしっかりと上がる時には、日ごろお経のいただけない無縁仏様が集まって来て、お経や供物などを食べるのだそうです。このお膳は仏様のものです。あなたたちはこちらのご飯をいただいてくださいと言うことで、「おさば」をお膳の中央に下ろすのだそうです。

2つ目には井にいっぱいの水です。土葬のときにはなかったのかもしれませんが、最近は火葬ですので、火に焼かれて喉が乾いているので、先ずはたっぷりの水を差し上げて、冷やしていただくそうです。

3つ目には法要中に何度もお茶を入れ替えることです。新仏様は温かいお茶の湯気に乗ってお経をいただきます。亡なられた方は冷たくなっているので、お茶を好むとも言われています。何度も入れ替えるのは、お経の一つ一つに新しいお茶をさしあげ、差し上げた方が布施の一つである身施（しんせ）をすることで功德を積み、供養することを意味するそうです。そして、この作法は主に女性に担っていただきます。というのも畳の上に座っての法要中は、男性は足を崩せますが、女性は、なかなかそうはいかないので、女性に立って動ける機会を作るという意味があったそうです。

地域性や習わし等があるので、何が正しくて何が間違っていると言うのではなく、このようにいろいろな所作には、それぞれ意味があるのだと改めて思いました。

3月はお彼岸月です。皆様もお墓参りに行かれたり、お仏壇に手を合わせたりされる

機会が増えると思います。そして、ご先祖様は皆様に会えることを楽しみにしていると思います。ご先祖様に思いを馳せて、一日でも、一回でも多く、お題目やお経を唱えてご供養しましょう。



◇ 行事報告 ◇

2月18日（火）摩利支天月例祭

午前10時から本堂にて読誦会を、引き続き摩利支天堂にて祈願会を執行させていただきました。来年は跋魂祭をこの日に執り行いますので、よろしくお祈りいたします。



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

4月18日（金）、5月22日（木）午前10時より執行いたします。

※5月は日にちが変更になりますので、よろしくお祈りいたします。

摩利支天様の御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

グランドゴルフ大会

4月16日（水）に「岡山県宗務所主催のグランドゴルフ大会」、4月21日（月）に「庭瀬組寺主催のグランドゴルフ大会」が岡山ドームで開催される予定です。参加希望の方はご連絡ください。

◎ 護持会費のお願い ◎

3月18日以降にお世話人のおられる方は、お世話人がお伺いいたします。

その他の檀家の方には、振込用紙を同封させていただきますので、納入の程、よろしくお祈りいたします。

◇ 近況 ◇

やっと境内の梅の花が咲きました。今年は、花が咲くのが遅いように感じます。

少しずつですが、春の訪れを感じます。



合 掌